



令和3年度補助事業等実績報告書

令和4年4月11日

函館市長 工藤 壽樹 様

住所 函館市若松町33番6号
補助事業者等 函館市社会福祉協議会 3F
団体名 函館認知症の人を支える会
代表者氏名 会長 朝倉 順子

補助事業等の名称 函館認知症の人を支える会運営事業

令和3年4月1日函福高をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、

令和4年3月31日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額 金 100,000円

補助金等領収済額 金 100,000円

補助金等領収未済額 金 0円

補助事業等の計画（実績）書

申請者の概要	設立年月日	昭和62年7月21日
	構 成 員	105名（令和4年3月末現在）
	営む主な事業	認知症の人とその家族に係わるボランティア活動
補助事業等の 内 容	別紙（令和3年度活動実績）のとおり	
補助事業等の 実施による効果	<p>会員相互の連携強化や、認知症の人とその家族の支援を行うことが可能となり、また地域社会に対する認知症高齢者の理解が深まることで、地域福祉の発展に寄与できた。</p>	
備 考		

- (注)
1. この様式は、補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 補助事業等の内容は、詳細に記載すること。（別紙も可）
 3. 工事の施行を伴う場合は、その実施設計書および図面を添付すること。
 4. その他必要と認められた書類を添付すること。

令和3年度活動実績

- 1 定期的に (年9回) 家族の集いを開催し会員相互の交流と情報交換をする。
- 2 定期的に (年9回) 会報を発行する。
- 3 定期的に (年6回) 「もの忘れカフェ」を開催する。
- 4 認知症の人と介護者への社会一般の理解と関心を広めるための研修会を行う。
- 5 電話相談 (毎週木曜日) を行い、会員及び市内外の介護している家族との連携を図る。
- 6 関連する各種研修会、講演会に参加し、認知症について研修し、介護技術の向上を図る。
- 7 その他、認知症の人の人権並びに福祉向上のための諸活動を行う。

令和3年度年間行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定期総会	書面表決											
「集い」曜日	1日(木)	/	3日(木)	1日(木)	/	2日(木)	7日(木)	4日(木)	2日(木)	/	3日(木)	3日(木)
内 容	交流会と 自由懇談	6日(木) 福祉センター 休館にて活動 お休み	交流会と 自由懇談	交流会と 自由懇談	「集い」 「会報」 お休み	交流会と 自由懇談	交流会と 自由懇談	交流会と 自由懇談	交流会と 自由懇談 「会報」は お休み	「集い」は お休み	交流会 「会報」は お休み	交流会と 自由懇談
会報発行日	29日(木)	27日(木)	24日(木)	29日(木)	/	30日(木)	28日(木)	25日(木)	/	27日(木)	/	31日(木)
電話相談日 (木曜日)	1. 8. 15. 22. 29	13. 20. 27	3. 10. 17. 24	1. 8. 15. 22. 29	5. 12. 19. 26	2. 9. 16. 23. 30	7. 14. 21. 28	4. 11. 18. 25	2. 9. 16. 23	6. 13. 20. 27	3. 10. 17. 24	3. 10. 17. 24. 31
もの忘れカフェ	17日(土)	15日(土)	/	17日(土)	/	/	23日(土)	20日(土)	/	15日(土)	/	/
施設ボランティア (月曜日)	コロナ感染防止対策のため中止になる。											
研 修 会	道南ブロック研修会 森町 延期になる											
全国の会	全国総会 京都市 6月 参加者なし											
全道の会	全道総会 札幌市 中止になる											
	施設見学 コロナ感染防止対策のため中止になる											
	アルツハイマーデー参加 9月21日 五稜郭タワー オンラインライブアップ 6名参加											
	函館市家族介護者交流事業(社会福祉協議会実施)に参加協力 8月4名、11月4名											

令和3年度 補助事業等の収支予算 (決算) 書

収入の部 A B B-A (単位:円)

項目	本年度予算額 (本年度予算額)		前年度予算額 (本年度決算額)		増 減		内 訳
		うち、補助 対象事業		うち、補助 対象事業		うち、補助 対象事業	
繰越金	3,098	0	3,098	0	0	0	前年度より繰越
会費	225,000	225,000	182,500	182,500	▲42,500	▲42,500	2,600円×73名
賛助会費	105,000	105,000	100,000	100,000	▲5,000	▲5,000	5,000円×20口
助成金	493,000	493,000	465,714	465,714	▲27,286	▲27,286	函館市 100,000 150,000 100,000 55,000 60,714
寄付金	20,000	20,000	7,000	7,000	▲13,000	▲13,000	各位
雑収入	23,902	0	46,740	0	22,838	0	謝礼金・その他
合計	870,000	843,000	805,052	755,214	▲64,948	▲87,786	

支出の部 A B B-A (単位:円)

項目	本年度予算額 (本年度予算額)		前年度予算額 (本年度決算額)		増 減		内 訳
		うち、補助 対象事業		うち、補助 対象事業		うち、補助 対象事業	
研修費	70,000	70,000	63,840	63,840	▲6,160	▲6,160	謝礼、他
事務局費	250,000	245,000	259,603	234,603	9,603	▲10,397	備品、弔慰金、ボラ連保険
連携活動費	270,000	270,000	204,700	204,700	▲65,300	▲65,300	交通費、ボラ連行事参加
会議費	45,000	35,000	35,282	22,113	▲9,718	▲12,887	例会「集い」、お楽しみ会
通信費	130,000	130,000	142,358	136,958	12,358	6,958	会報送料、電話料金
負担金	93,000	93,000	93,000	93,000	0	0	道本部 600円×105名 全国 5,000円×6名
雑費	12,000	0	1,482	0	▲10,518	0	振込手数料
繰越金	0	0	4,787	0	4,787	0	次年度へ繰越
合計	870,000	843,000	805,052	755,214	▲64,948	▲87,786	

※実績報告の場合 収入の部 805,052円 — 支出の部 805,052 = 収支差引額 0

[補助対象事業 収入755,214円 - 支出755,214円 = 収支0円 (返還不要)]

- (注) 1. この様式は、補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をずる場合に使用すること。
 2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。
 4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認めた書類を添付すること。